

2006年監視プログラム*

下記の物質が 2006 年監視プログラムに掲載される。

興奮薬：

a) **競技会検査** のみ ブプロピオン、カフェイン、

フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドロール、
プソイドエフェドリン、シネフリン

b) **競技外検査** アドラフィニル、アドレナリン、

アンフェプラモン、アミフェナゾール、アンフェタミン、アンフェタミニル、
ベンズフェタミン、ブロマンタン、カルフェドン、クロベンゾレックス、
コカイン、シクラゾドン、ジメチルアンフェタミン、
エチルアンフェタミン、エチレフリン、フェンブトラゼート、フェンカンファミン、
フェンカミン、フェネチリン、フェンフルラミン、フェンプロポレックス、
フルフェノレックス、メフェノレックス、メフェンテルミン、メソカルブ、
メタンフェタミン(D 体)、メチレンジオキシアンフェタミン、
メチレンジオキシメタンフェタミン、メチルフェニデート、
モダフィニル、ノルフェンフルラミン、パラヒドロキシアンフェタミン、
ペモリン、ペンテトラゾール、フェンジメトラジン、フェンメトラジン、
フェンテルミン、プロリンタン、ストリキニーネ

麻薬：競技会検査 のみ モルヒネ／コデイン比

*WADA 規程 (4.5 条)：禁止リストに掲載されていない物質のうち、競技における薬物乱用パターンを把握した方が得策であると WADA が判断したものがある場合、WADA は、他の署名当事者及び各国政府と協議して当該物質に関する監視プログラムを策定するものとする。